

8月1日（火）開講式、グロスター大聖堂&チェルトナム市内オリエンテーション

朝8時45分、全員、元気に登校しました。学校に着くと早速、お互いのホストファミリーについての話が始められました。「親切で、これから楽しくなりそうです」「思っていたより英語が通じました」「夕食がとても美味しかったです」「英語が通じない・・・けど、単語を並べて頑張りました」など一夜明けた感想は様々でした。全体的には、前日の緊張した表情とは変わり、リラックスした笑顔でホームステイ先での楽しい生活ぶりがうかがえました。



開講式ではLynne先生とRhiannon先生からショートスピーチをしていただきました。そして、2クラスに分かれていよいよ授業がスタートしました。初日の授業はチェルトナムやイギリスの歴史について学んだり、グループに分かれてお互いを紹介し合ったりしました。積極的に発言しており、明るい声がたくさん聞こえていました。



ホストファミリーが作ってくれたランチを食べた後は、グロスター大聖堂に向かいました。グロスターの町にそびえたつノルマンディー様式の大聖堂の歴史は深く、1089年から1499年の410年間もかけて建設されました。そして回廊と呼ばれる、正方形の枠型の廊下へ一歩足を踏み入ると、ひと目でハリーポッターの撮影場所だと分かる生徒もいました。この大聖堂は、ハリーポッターの映画のロケ地として何度も使われた場所で、ホグワーツ魔法学校の廊下として登場しています。特にハリポタファンの生徒は、目を輝かせながら写真を撮っていました。



そして、グロスター大聖堂に隣接した裏道には、ピーターラビットの著者として有名なBeatrix Potterのお店もありました。このお店は以前、仕立屋さんだったそうで、Potterがこのお店を元に「グロスターの仕立て屋」というお話を書いたことで有名です。小さなお店の中には所狭しと、可愛いピーター・ラビットグッズが並んでい

ました。お店の奥には「グロスターの仕立て屋」の物語が再現され、2階にはグロスターに関する記念品が展示されていました。

続いて、チェルトナムの街に戻り、街中散策をしました。最初の目的地はポンプルームでした。ポンプルームは昔、上流階級（貴族）の人たちがSPA（温泉という意味）から湧き出る薬効のあるお水を飲み、社交場として利用していた街のシンボル。その後、市庁舎、トレヴィの泉を模して造られたネプチューン噴水、ホルスト像があるインペリアルガーデンへと、チェルトナムの名所や歴史について、先生からの説明を聞きながら巡りました。



花や緑の美しい街として有名なチェルトナムは、多くの公園があり、たくさんの花が咲き誇っています。生徒たちも「綺麗」「可愛い」と喜んでいました。そして、イギリス内でのベストショッピングストリートにもランクインされたメインストリートの「プロムナード」や「ハイストリート」を散策しました。最後には自由散策をそれぞれ楽しみ、お土産に英語の本とイギリスのTシャツを購入した生徒も多く見られました。

<チェルトナム散策ルート>

ポンプルーム→市庁舎→ネプチューン噴水→ホルスト像（インペリアルガーデン）→プロムナード→ハイストリート